

学校関係者評価報告書

学校法人 福田学園
大阪工業技術専門学校
自己点検・評価委員会
学校関係者評価委員会

学校法人福田学園 大阪工業技術専門学校(自己点検・評価委員会)が実施した平成27年度自己点検・評価表に基づき、下記日時に開催した『学校関係者評価委員会』に於いて以下の意見と評価がありました事を報告致します。今後は、この外部委員から頂きました意見等を真摯に受け止め、より良い学校運営と教育に努めて参ります。

- 開催日時:平成28年9月5日(月) 15:00～17:00
- 場 所 :学校法人福田学園(1号館3階小会議室)
- 学校関係者評価委員 出席者 (敬称略)

【評価委員】	所 属	役職等
松山義広	県立奈良朱雀高等学校	建築工学科長
藤山 等	株式会社 昭和工務店	総務部長
河野正道	住友精密工業株式会社	総務人事部 アシスタントマネージャー
【内部委員】	所 属	役職等
伊東和幸	大阪工業技術専門学校	副校長
浜野哲二	大阪工業技術専門学校	次 長
宗林 功	大阪工業技術専門学校	教務課長
吉田裕彦	大阪工業技術専門学校	教務課長
吉松秀典	大阪工業技術専門学校	広報担当課長
善才雅夫	大阪工業技術専門学校	進路支援室長

◆ 学校関係者評価と意見

A:十分に満足できる B:満足できる C:やや不十分である D:不十分である

項 目	関係者意見(本校が抽出した小項目に対する主な意見、及びその他の意見)	総合評価 (基準)
【基準1】 教育理念・目的・育 成人材像等	創設者による『知識・技術・精神を備えた時代が求める技術者を養成する』という教育理念を創設以来、常に実践して来ていることは良いことである。 その成果もあり、1級建築士の合格者数(試験センター発表データ)は、西日本の専門学校ではNo1であり全国でもNo2という結果を残していることは素晴らしい。 創立120年の歴史とその卒業生達が組織する『OCT校友会』が全国各地で活動していることは、同じ業界で働く者にとって有益な情報交換もでき励みになっていると思われる。	A
【基準2】 学校運営	『中期計画(3か年計画)』の実施状況を検証することが大事であるので、実践して頂きたい。また、併せて各種の事業計画の検証結果を公表し、学校運営に反映させる必要がある。 意思決定システムが確立しており、運用や改善の実施に至るまで有効的に機能していることは十分に評価できる。 人事考課制度は、部門ごと(例えば、直接部門・間接部門)での評価基準設定が企業に於いても難しいと同じように、学校の教員職と事務職でも同じ基準	B

	<p>で評価するのは難しいと思われるので、現在実施されている学生による授業評価等のアンケート結果も踏まえて数値化できるように検討してみてください。</p> <p>また、上長による部下の査定に於いては、上長に対する研修等を行っていないと個人の主観が強く反映され、平等な評価とはならないのではないかと。</p>	
【基準3】 教育活動	<p>教育カリキュラムというものは、何処を焦点とするかで、変わってしまう。</p> <p>例えば、学科にもよるが『資格』の取得に主眼をおけば、それに対応したカリキュラム編成になってしまう。その必要性もあるが、一番には出口である企業(業界)が求める人材に適応した内容であるべきであると考えている。</p> <p>企業アンケートを実施し、業界のニーズを収集するなどカリキュラムの内容をより良いものに編成されよう取り組まれている。</p> <p>高校では、『働くこと』とは?、『仕事』とはどういうものか?! いうことを教えている。</p> <p>しかしながら、入社してくる現代の若者は『企業』に対する意識(思い)が低く欲も少ない。企業としては、コミュニケーション能力といった社会人としてのスキルはもちろんのこと、人間性をアップするような教育も専門科目の中に組み入れて頂けると有難い。</p>	B
【基準4】 教育成果	<p>根源的 pursuit『何を以って教育成果とするか』がなされており、「知識の獲得」・「技術の向上」・「資格の取得」に加えて、学生の多様な資質や可能性を引き出すような指導をされているのは評価できる。</p> <p>特に、キャリアデザインの授業内容は、参考にさせて頂きたい。</p> <p>近年、学生の基礎力の低下、及び行動力に於いても高校生のようなキビキビした態度がどの学校の学生にも見られない。就職後、企業で活躍できるよう常日頃からちゃんとやる(安全のABC)の意識を身に付けさせて頂きたい。</p> <p>当社が受け入れているOCTの学生は、他校の学生と比べても社会的適応性があり仕事ができる者が多い。</p> <p>また、平均しても他校の学生より、『資格試験』の合格率も高い。</p>	B
【基準5】 学生支援	<p>進路体制が整っているからこそ、高い就職率に繋がっていると思われる。</p> <p>進路支援について、細かな指導までなされておりサポート体制も十分である。</p> <p>※例えば、留学生に対する日本語サポート授業や大学編入希望者への試験対策講座等の開催。また、経済的側面の支援や学生相談・健康管理の支援保護者との連携など多岐に亘って学生に対する支援体制が確立されており十分な評価に値する。</p> <p>※例えば、学費の分納・延納制度や専門カウンセラーによる相談と常駐する看護師による健康管理。</p>	A
【基準6】 教育環境	<p>計画的な設備の導入や老朽化に対する備品の入れ替えを着実に実行されており問題なし。また、現代のインターネット社会に対応した教育環境のインフラ整備として、この平成28年度に校舎全館を無線LAN化にされたことは、他校に先んじており、これからの有効的な活用に期待できる。</p> <p>近年、天災による被害が甚大なため、防災に対する体制の整備を取られているのは、評価できるので是非とも訓練等を速やかに進めて頂きたい。</p>	B
【基準7】	<p>大専各と高等学校進路指導協議会との遵守事項に沿って、キッチリと学生募集活動を適正に行っていることは評価できる。</p> <p>専門学校の入学試験では『書類選考のみ』という学校がある中で、全員面接をして、志望者の意識や将来的な展望を確認し、総合的に合否判定をすることは良いことである。</p> <p>また、【空間的思考力】も重要なポイントであり、素養として身に付いていなければ、仕事をする上で本人も苦しむことになり、その点についても面接時に</p>	

学生の募集と受け入れ	見極めて頂きたい。そのことが、除中退の率を減らし、目的意識を持った人材の育成へと繋がって行くと思われる。企業からすれば、書類だけで採用する所はないし、面接も1回だけでなく最低でも2回・3回と実施する。 高校から見て、OCTは学校を核にして、企業・人・地域の関りを大切にしているように思える。また、高校生だけをターゲットにした活動だけでなく、小中学生にも将来の夢を見させるような取り組みもされており、建築業界全体の発展と維持に努められている。 高等学校との連携を深め、学校の良さを広めて行ってください。	B
【基準8】 財務	財務管理は安定しており十分に評価できる。 財務情報の公開・会計監査等を適正に行っているので問題なし。	A
【基準9】 法令等の遵守	関係法令を遵守し適正な学校運営を行っており、また、個人情報保護に関する管理体制も整えている。 学生も勿論、教職員のモラル向上アップ継続して努めて頂きたい。	A
【基準10】 社会貢献	行政機関をはじめ、民間企業や地域とも共同した連携は、十分に社会貢献に値することなので、これからも継続して実施して行って頂きたい。 多数の卒業生が業界で活躍していること自体が社会貢献と言えるので、これからは良き人材の育成を各業界に輩出して頂きたい。	A
【基準11】 国際交流	外国人留学生の受け入れに関しては、年々増加傾向にあり、一定の評価はできるが、外国との交流という意味では、外国の学校との交換留学が出来るような環境になれば理想と思われる。 企業もダイバーシティ等に取り組んでいるので、体制整備が大変であるが、戦略を持って国際交流を行って頂きたい。	C

※尚、上記の学校関係者評価・意見は、委員会当日(9/5)に出席されました外部委員の皆様方から後日、別途頂戴しました意見と評価を集約して纏めさせて頂いております。